

令和6年度 学校関係者評価及び改善策

(中間・最終)

和庄中学校区 校番 13 学校名 呉市立和庄小学校

評価項目	※評価	理由・意見
目標、指標の設定の適切さ	A	・中間目標の結果を基に指標が設定されている。 ・各項目で具体的に高い目標値が設定されている。 ・それぞれの指標に照らして、概ね達成されていることから、取組次第で可能な目標が設定されているものと認められる。
目標達成のための方策の適切さ	A	・子供たちの目線で目標達成のため努力をされている。 ・目標達成のための方策が具体的に示されている。また、日々の授業や生活の中で取り組む内容となっており実態に即している。 ・一定の課題を残すものもあるが、児童個々の適性に応じ、また、その取組にも配慮されており適切と認められる。
自己評価の結果と分析の適切さ	A	・4つの努力目標に対して、課題を見つけながら評価している。 ・各項目で課題が具体的に分析されている。 ・達成度は学力に多少課題があったものの、他の項目では概ね目標値を上回っており、学校全体での取組の成果が出ている。 ・指導方法の如何によって目標値を達成しているものについてはその伸張を、また、一部課題を残すものについて、その問題点を抽出しての指導の必要性が指摘されており、以後の指導方針(改善策)に反映されるものと期待される。
今後の改善策(案)の適切さ	A	・最終結果を検討し、さらに向上できるように改善等を考えている。 ・各項目で丁寧に具体的に改善策が検討されている。 ・上記の「結果と分析」に基づく改善策が出されており、より効果的に指導方針による改善効率の向上が図られるものと認められる。
その他		・今後更に学校と地域の関係を向上したい。 ・防災教育に重点的に取り組んでおり、子供たちの防災意識の高さが目標達成度に表れている。継続して取り組んでいただきたい。 ・3年間の中間経営目標の結果と課題を踏まえて、また、新たな取組の計画を作成していただきたい。 ・年少者や高齢者に対する「思いやり」の心は、人として大切な徳目であると考えており、地域清掃を行っていただいたことに感謝します。 ・思いやりの心を示に行動することは、自身の心身の健康が前提になることから、その錬成にも今以上に配慮を要するのではないかと思います。

※ 評価は、A(とても適切)、B(概ね適切)、C(あまり適切でない)、D(まったく適切でない)、N(分からない)

